

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

和歌山県

外国人労働者 22%増える 和歌山県内、9年連続で最多更新

2024/03/02

和歌山労働局は、昨年10月末時点で県内企業が雇用している外国人労働者数は4682人で、前年同期より22・7%（866人）増えたと発表した。近年、増加傾向にあったが、新型コロナウイルス対策で実施していた入国の水際対策が大幅に緩和されたことや人手不足などが影響し、大きく増えたと考えられるという。県内の外国人労働者は、届け出が義務化された2007年からほぼ右肩上がりに増加。15年からは9年連続で最多を更新した。前年比増加率は20年が10・9%、21年は8・8%、22年は12・6%だったが、23年は10ポイント増えた



外国人労働者数22.7%増 和歌山労働局 07年以降最多 / 和歌山 | 毎日新聞

外国人転入者数が過去最多 国籍別では韓国が最も多い 技能実習生はベトナム人が増加 和歌山市

2024/05/08

和歌山市の昨年度の外国人転入者数は1166人で2年連続で過去最多を更新しました

た和歌山市によりますと昨年度の市営の外国人転入者数は1166人で2年連続で過去最多を更新口ナの令和2年度と3年度を除いて伸び続けていて平成26年度の546人と比べこの10年で2.1倍となりました

た年齢別では15歳から39歳までの若い世代の転入者が多く6割近くを20歳大の若者で占めてい



技能実習生が講習で地震や火災の対応方法学ぶ 和歌山

2024/05/06

海外からの技能実習生たちに、地震や火災にあった際の対応のしかたを学んでもらう講習会が和歌山市で開かれました。和歌山市の防災学習センターで開かれた講習会には、中国、ベトナム、タイの3か国から来日したあと、県内の事業所で働く11人が参加しました。実習生たちは、県内では定期的に大きな地震が起こっていることなどを学んだあと、VRの映像とそれに連動して動くイスを使って、自宅の一室で地震や火災にあった場面を体験していました。



御坊のお好み焼き店で外国人就労者ら交流

2024/05/06

御坊ロータリークラブ国際奉仕委員会（角幸彦委員長）の「外国人就労者・留学生のためのお好み焼きの会」が20日、御坊市島の朝日堂で開催。外国人就労者・留学生23人が、関西の味のお好み焼きを味わいながら交流のひとときを楽しんだ。



日高地方で働く外国人らが楽しく交流

「外国人」は使い捨て？ 「怪我をさせて強制帰国」の残酷な現実

2024/06/25

先月23日、厚生労働省は2023年に発生した労働災害について公表した。労災事故による死者数は755人と前年から減少したものの、4日以上以上の休業を要した死傷者数は前年比2.3%の135,371人と3年連続で増加している。全体的に増加傾向にある労災事故だが、その中でも特に多いのが外国人労働者の労災事故だ。日本全体の労働災害発生率が1000人あたり2.36人（千人率）に対して、外国人労働者は2.77人と高い割合で労災事故に遭うことがわかっている。

